

# 委員会視察状況

産業建設委員会・防災安全特別委員会・議会運営委員会の各委員会では、それぞれの所管事項に関して行政視察を実施しました。

## 産業建設委員会

10月29日(月)から31日(水)にかけて行政視察を実施した。

10月29日は、千葉大学構内にある千葉大亥鼻イノベーションプラザを視察した。同プラザは起業や創業活動、企業の新事業展開等を総合的に支援する大学連携型起業家育成施設であり、産業の活性化に係る起業支援及び大学との連携について説明を受けた。

10月30日は、群馬県太田市を訪問し、「水道事業の民間委託について」をテーマとして視察を行った。太田市では昭和47年から段階的に水道事業の民間委託を進め、平成19年度から包括業務委託を実施しており、これまでの取組みの経過や成果等について説明を受けた。

10月31日は、東京都町田市を訪問し、「道路資産管理基本計画によるアセットマネジメントの取組について」をテーマとして視察を行った。町田市では道路・橋梁等のインフラの維持更新について管理計画を策定し、施設の計画的な更新と予算の平準化を進めており、その取組みについて説明を受けた。



## 防災安全特別委員会



11月5日(月)から11月6日(火)にかけて行政視察を実施した。

11月5日は宮城県仙台市にて「仙台市震災復興計画について」を視察。東日本大震災による被害状況やその後の復興現状、震災復興計画について、担当者より説明を受けた。市民はもちろんのこと、観光者や通勤の人が帰ることが出来ず多数帰宅困難者になったこと、避難所運営の難しさが浮き彫りになり今後の課題であること、また、復興支援として集団移転促進事業等について説明を受けた。

11月6日は宮城県石巻市にて「東日本大震災における被害状況と現状について」を視察。ビデオを見ながら、被害状況等を担当者から説明を受け、その後現地調査も行った。

被害の多くは地震そのものが原因ではなく、津波が原因によるものであり、沿岸部では10m以上、人口集積地では8m以上の津波であった。また、津波遡上距離は約50km以上あり、岩手県境まで観測された。浸水総面積は市内約13.2%にあたる73km<sup>2</sup>で、沿岸部・中心市街地は100%浸水している等説明を受けた。

現地視察は、津波襲来後に複数火災が発生した門脇・南浜地区を回り門脇小学校などを視察した。

## 議会運営委員会

10月31日(水)と11月1日(木)の2日間において、神奈川県小田原市と横須賀市を訪れ、それぞれ議会運営について行政視察を実施した。

視察内容は、会議日程について、代表質問・一般質問について、議案質疑について、予算・決算の審査方法について、常任委員会の審査状況について、議会の広報広聴について、議会基本条例の制定とその運営について等であり、鈴鹿市議会の状況と照らし合わせながら、両市の運営方法等について説明を受けた。

特に、議会の広報広聴については、インターネットでのライブ中継を実施するなど、両市で積極的に展開されており、詳しい状況等を調査研究した。

鈴鹿市議会では、12月1日から鈴鹿市議会基本条例を施行するにあたり、その条例の趣旨を尊重し、団体意思の決定機関として及び市長等の監視・評価機関として、その役割を果たすために、市民との情報共有等を進めることとしており、両市の議会運営の先進的な取組みについて調査研究することで、参考になることを今後の議会運営に活かすこととしている。

